2024年5月例会報告

水戸沿線を巡る(笠間~福原)鳳台院石楠花と石切山脈見学

開催日 2024年5月3日(金)

集合場所 IR 水戸線 笠間駅北口

集合時間 9時~9時20分 9時30分スタート

コース 笠間駅北口~笠間稲荷神社 (八重の藤) ~鳳台院 (石楠花)

笠間市総合公園~石切山脈(昼食)~稲田神社~茨城百景

西念寺~常陸国出雲大社~福原駅(18 k m ゴール)~

笠間駅北口 (26 k m ゴール)

ゴール時間 15 時 45 分

距離 26 k m/18 k m 団体歩行

参加者 30 名

天候 快晴 気温 19 度 湿度 54%

ウォーキング状況

GW後半初日、天気予報どおり爽やかな晴天になり、多くの皆さんに参加をいただき有難うございました。笠間駅に到着する電車が遅れ心配しましたが、参加者の多くは電車を利用していらっしゃいました。

駐車場は、笠間陶炎祭が開催中でもあり、駐車が多いかと、危惧したが杞憂でした。

会長の開催の挨拶後、コース説明をさせて頂きました。気温 19 度と暑くはないが、 日差しが強いので熱中症の予防を喚起、笠間稲荷神社へとスタートしました。 ルートを少しアレンジして笠間稲荷神社の門前にある酒蔵を経由させて頂きました。 この酒蔵は明治 6 年創業の笹目宗兵衛商店と言い、代々笠間稲荷神社に御神酒を奉納 しているそうです。定番は大吟醸 二波山松緑が有名です。

お客さんで賑わう店をでると、すぐ前に鳥居が迫り、八重の藤が咲き誇る神社に参拝しました。休憩後、次の目的地「鳳台院」に向かいました。イオンショッピングセンターを左折、下見時に発見した地下道を利用して、交通量の多い 50 号線をくぐり笠間消防署脇の道を進みます。鳳台院の山門は江戸時代中期のもので、指定文化財です。トイレ休憩後、石楠花園の遊歩道一周、白や赤、ピンクと色とりどりで、背の高い大型の木が多くありました。先代住職が 40 年前に寺の名物にしようと妻の好きな石楠花を植え始めたそうです。ちなみに花言葉は「威厳」「荘厳」で「高嶺の花」は石楠花を指す言葉です。境内にあった大達磨像も「威厳」がありましたね。

50 号線沿いには石材店が多く点在し、しばらく歩き続けコンビニに立ち寄り トイレ休憩して昼食場所でもある石切山脈に着きました。笠間稲田地区は、良質な花 崗岩「稲田石」の産地として有名です。稲田石は(東西8キロ、南北6キロの石切山 脈)で採掘され、国会議事堂や東京駅など有名な建築物に使用されています。

笠間市総合公園は野球やテニス楽しむ人びとや保護者がいて賑わっていました。

白い御影石を贅沢に使ったテーブルで食べる昼食は、格別でした。

石切山脈でのモニュメント見学後、次の目的地「稲田神社」に向かいました。 ウグイスの綺麗な鳴き声に癒やされ山道の先、裏手からの境内に入ると荘厳な お社が見え、太い御神木が歴史を感じさせます。

参拝後、急な階段を下って御影石の石畳行くと、白い石作りの鳥居をくぐり 境内をでました。再び50号線沿いを歩き続けると茨城百景に指定されている 「稲田禅房西念寺」の茅葺きの山門が迎えてくれました。新緑の木と苔むした庭園は 何とも言えない風情があり、本堂にも入って参拝をしましたが、暗くてひんやりと した佇まいは、何とも言えない良い気持になりました。境内の「お葉付銀杏」の巨木 は、茨城県の天然記念物です。境内を後にして「聖人見返り橋」を見学、50 号線と 結城街道を進み最後の訪問地、常磐出雲大社に歩みを進め福原駅を過ぎて路地を右折 50 号線下の細いトンネルをくぐって急な階段を最後の力を振り絞って登って行くと やっと迫力ある大しめ縄で有名な常磐出雲大社に到着しました。記念撮影してから福 原駅に向かい、予定時間を過ぎてのゴールでした。皆さんお疲れ様さまでした。 福原駅ゴール(18km)の皆さんとお別れして、笠間駅に出発し、結城街道、50 号線 沿いを歩き途中から右折、田園地帯を爽やかな風に吹かれながら歩き続け、笠間駅北 口に無事到着する事ができました。ご参加の皆さんお疲れ様でした。

以下 写真です





笠間稲荷神社とふじ棚



鳳台院本堂



石楠花園への坂道













石切山脈 御影石テーブルで昼食タイム



迫力ある大しめ縄の常磐出雲大社

報告者 小林